

## 令和6年度 学力検査 (NRT)、全国学力・学習状況調査の結果について

4月10日に2～5年生を対象とした学力検査 (NRT)、4月18日に6年生を対象として全国学力・学習状況調査が実施されました。これらの結果をもとに本校の今後の取組についてお知らせします。

### ◇学力検査 (NRT) 結果より◇ 全学年の傾向をまとめて表記しています。

令和6年度標準学力検査NRT (2～5年生実施) では、学校全体としては、国語・算数ともに全国平均を上回る結果でした。少人数指導の良さを生かした学習の中で基礎・基本の定着を意識して取り組んでいる成果が現れていると考えられます。ただ個人による差が大きく、個に応じた指導をしていくことで全体的な底上げにつなげていく必要があります。

【国語】学校全体としては領域別で「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」とともに全国平均を上回りましたが、学年によっては「書くこと」に課題が見られました。

【算数】学校全体としては、「図形」「変化と関係」「数と計算」は、全国平均を上回りましたが、「測定・データの活用」領域に課題がみられました。

### ◇全国学力・学習状況調査結果より◇ 具体的な数値はお知らせできません。全国と比較して表記します。

国語	上回っている
算数	上回っている

【国語】内容別では、「知識および技能」の言葉の特徴や使い方に関する事項と情報の扱い方に関する事項、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は全国正答率を上回りましたが、「知識および技能」の我が国の言語文化に関する事項は全国を下回りました。問題別では14問中11問で全校平均を上回り、うち8問は全校平均を10ポイント以上上回りました。「一方で、「話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができるかどうかを見る」「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる」といった問題で、全国を下回りました。

【算数】領域別では、全ての領域で全国正答率を上回りました。問題別では15問中14問で全校平均を上回り、うち9問は全校平均を10ポイント以上上回りました。一方で、「角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。」問題は、低い正答率で全国を下回りました。

\* 国語・算数とも無回答者が少なく、単元テスト等において意識してきた「あきらめずに最後まで丁寧に取り組む」姿勢が反映されていました。

#### 【児童質問紙より】

- ① 全国平均を上回っている項目で特徴的なもの 「あてはまる」の割合が高かった主な項目
  - ・自分には、よいところがあると思いますか。
  - ・学校に行くのは楽しいと思いますか。
  - ・国語の勉強は大切だと思いますか。
  - ・総合的な学習では、自分で課題をたてて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
- ② 低い回答が全国を上回った項目で特徴的なもの
  - ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
  - ・5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。

### ◇今後の取組◇ (代表的なもの)

- ・今後も少人数指導のよさを生かした、個に応じた指導を継続していきます。
- ・国語では、条件を満たした文章を書くことや、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる場面を設定します。また、学校生活の中で、目的や意図に応じて、どのように伝えるのかを検討する場面を多く設定します。
- ・算数では、問題の答えを、言葉や数、式を用いて説明する時間をとったり、教科書にある例示を基にして、説明する時間を確保します (3年生以上)。また、図形の意味や性質について、ICTを活用して学習を進め、理科や社会の中でも、表やグラフの読みとりかたを指導します。
- ・授業やその他の活動での、タブレットの効果的な活用につとめていきます。
- ・家庭学習の手引きの配布や懇談会等での交流を通して、家庭においても学習を振り返る場を設定し、各教科における基礎・基本の定着を充実させます。